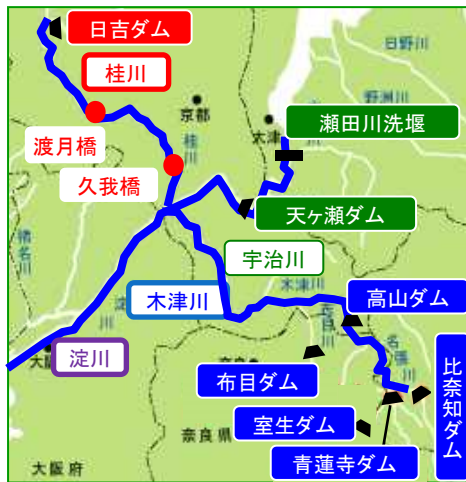


治水事業の効果 (淀川上流ダム群の洪水調節による効果)

- 平成25年台風18号の豪雨により、淀川水系では大規模な出水が発生し、桂川下流の京都市伏見区で、洪水が堤防を乗り越え、いつ堤防が決壊してもおかしくない状況
- 日吉ダム、天ヶ瀬ダム等の淀川上流ダム群による最大限の洪水調節により、水位を数十cm低減させるとともに、水防活動により、ギリギリで堤防決壊を回避
- もし、堤防が決壊していれば、少なくとも約1.2兆円の被害が発生



※想定浸水範囲: 日吉ダムがなく堤防が決壊した場合

